

平成 28 年度 電子入札コアシステム特別会員会議・利用者会議【合同会議】 議事要旨

日時：平成 29 年 1 月 20 日(金) 13:30~15:00

場所：ビジョンセンター東京 5階 Vision Hall

1. 議事次第

(1) 議事

- 1) 特別会員会議・利用者会議【合同会議】開催の経緯
- 2) コアシステム事業の状況について
- 3) 意見募集について
- 4) Java Plug-in 廃止に向けての対応について
- 5) JRE8u111 に関する注意事項
- 6) アルゴリズム使用期間の設定について
- 7) JRE 対応について
- 8) その他（事務局からの連絡等）

(2) 閉会

2. 配布資料

資料 1	特別会員会議・利用者会議【合同会議】開催の経緯
資料 2	コアシステム事業の状況について
資料 2-1	今後のコアシステムの運用等について
資料 3	意見募集について
資料 4	Java Plug-in 廃止に向けての対応について
資料 5	JRE8u111 に関する注意事項
資料 6	アルゴリズム使用期間の設定について
資料 7	JRE 対応について
資料 8	事務局からの連絡等

参考資料 1	平成 27 年度電子入札コアシステム利用者会議議事録
参考資料 2	平成 27 年度電子入札コアシステム特別会員会議議事録
参考資料 3	平成 28 年度電子入札コアシステム特別会員会議・利用者会議【合同会議】
参考資料 4	電子入札コアシステムの普及状況
参考資料 5	電子入札コアシステム開発コンソーシアム規約
参考資料 6	電子入札コアシステム開発コンソーシアム会員名簿（平成 28 年度）

3. 参加者

区分	団体数	参加者数
中央省庁	3 団体	4 名
独法・機構等	9 団体	11 名
都道府県	39 団体	59 名
政令指定都市	12 団体	16 名
市町村等	21 団体	25 名
コアコンソ会員	18 団体	30 名
業界団体	2 団体	3 名
合計	104 団体	148 名

※団体数及び参加者数に事務局は含みません。

4. 会議概要

1) 特別会員会議・利用者会議【合同会議】開催の経緯

次年度以降について、原則として特別会員会議の開催をもって利用者会議を開催したもののみ、今年度と同様に特別会員会議・利用者会議【合同会議】を開催することとする経緯について説明を行った。

疑義等なかったため、当日より適用とした。

<質疑応答等> 特になし

2) コアシステム事業の状況について

コアシステム V6 のリリースや Windows10 Anniversary Update に対する検証、動作確認等、主な活動について報告を行った。

また、事業改善方針について、新しい方針案を提示し、参加団体の同意を得て、来年度より適用することとなった。

<質疑応答等> 特になし

2) -1 今後のコアシステムの運用等について

コアシステム V5.1 の延長サポートやリリースや Windows10 Anniversary Update に対する検証、動作確認等、主な活動について報告を行った。

また、事業改善方針について、新しい方針案を提示し、参加団体の同意を得て、来年度より適用することとなった。

3) 意見募集について

ホームページに設置した意見募集ページに届いた問合せについて、件数等の報告を行った。また、合わせて、事務局からの回答を説明した。

<質疑応答等>

[埼玉県]

以下の3点について確認したい。

- 添付ファイル無害化のスケジュールについて
- 電子入札コアシステムとの連携について
- コアシステムで利用可能な無害化処理装置の用途はついているのか？

[事務局]

スケジュールについては、現段階では、有効な製品が見つかっていないため、お知らせするのは難しい。

連携について、可能となりそうな製品は、現状では VOTIRO くらいであるが、プログラムインターフェイスがあることがわかっているくらいで、これから検討する段階のため、可能かどうか不明である。

利用可能となりそうな無害化処理装置は、現状把握しているのは、VOTIRO くらいであるが、これから調査を開始する状況である。

[宮城県]

Windows サーバ 2016 への対応時期について確認したい。

[事務局]

現時点では、来年度中に対応可能と考えている。

[秋田県]

添付ファイルの無害化について、無害化装置をコアシステムと連動させるということは、LGWAN 側に配置できると考えているのか？あるいは LGWAN-ASP に設置することを考えているのか？

[事務局]

どこに配置するというところまでは、現状考えていない。今コアシステムを配置してあるところから出来る範囲で、無害化ができないかを考えている。自治体ごとにシステム構成が違うため、対応も複数行うか、1 つに決めて行うか考える必要がある。

[秋田県]

自治体側としては、応札者がインターネット側からしか接続できないため、LGWAN への受け口の部分で無害化を行ってもらうのがベストと考えている。インターネット側で行うと LGWAN 側へ取り込んだ後に、再度、無害化を行う必要が出てくるのではないかと想定されるため。

[事務局]

応札者側からの添付ファイルは暗号化されているため、それを無害化するのは、現状のシステム構成上難しい。暗号化したファイルをデータベースに保存した後、発注者がそれを取り出すときに無害化するしかないのではないかと現状、考えている。

情報があまり入手できていない状況なので、あらためて、ご意見、ご協力をお願いしたい。

[静岡県]

県では、添付ファイル無害化処理をカスタマイズとして進めているが、JACIC の対応を待たずに進めてしまっても問題ないか？

また、無害化処理性能から運用で問題となるのは、内訳書の開封予定時だと考えている、内訳書開封予定時刻と開札開始予定時刻が集中（現行想定機で2時間以内）すると無害化措置に負荷がかかることが想定される。そのため、来年度以降、県及び市町村は、入札案件の予定日時の設定によっては、内訳書等の開封に時間がかかることを、受注者に通知することを考えている。

あわせて、共同利用内で入札・開札日を集中させない様に調整した運用も検討している。

[事務局]

カスタマイズについては、今のまま進めていただいて構わない。

無害化について、コアシステムではインターフェイスを設け、いろいろな製品に対応できるように考えている。その上で、どの製品にするかは、各発注機関が選択できるように考えている。静岡県様には、情報提供はさせていただくので、オプションという形になると思うが、採用・不採用をお考えいただきたい。

[東大阪市]

本市は、共同利用で、無害化処理は独自で対応する予定だが、コアシステムでの対応は、保守の範囲内となるのか、別途、発注機関への負担を考えているのか？

[事務局]

プログラムの更新は、基本的には、保守の範囲だと考えている。ただし、大規模な改修や新しいプログラムや機能については、保守とは別途費用負担をお願いすることになると考えている。コアシステムとしては、インターフェイス部分は保守範囲と考えるが、無害化装置本体については、別途ライセンスを買っていただき使用することも考えられる。

[長崎県]

- ・サニタイズされていないファイルを LGWAN 側に置くことを総務省は認めているのか？
- ・受注者が提出した後にサニタイズすると、受注者が提出したファイルとの同一性が担保できないため、受注者が電子入札システム上でサニタイズの操作を行い、サニタイズ後のファイルを確認した後、提出するという方式が望ましいのではないか。
- ・多くの自治体が利用しているコアシステムであるが、対応が 7 月に間に合わない可能性がある旨、総務省に申し入れすることはできないか？

[事務局]

LGWAN 側に置くことについて、総務省には確認していないが、暗号化されたファイルが置かれることについては、問題ないのではないかと考えている。

また、総務省への申し入れについては、ルートがないため行っていない、過去に申し入れを

した際は、ベンダの一つとして話を聞くとのことであった。

今後は、一度、入手した情報を持って総務省へ相談するということも考えたい。

- 4) Java Plug-in 廃止に向けての対応について
- 5) JRE8u111 に関する注意事項
- 6) 暗号アルゴリズム使用期間の設定について
- 7) JRE 対応について
- 8) 事務局からの連絡等

4)～8)の概要は省略します。

以 上